

1. 科目名 (単位数)	音楽 (小) (2 単位)	3. 科目番号	GELA1325
2. 授業担当教員	原 久美子		
4. 授業形態	演習 (個人、全員、グループ)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	小学校教育において必要とされる音楽の基本的な演奏技能と知識を習得し、創造的な音楽教育を実践する能力の育成を目指す。実際には小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌い、器楽アンサンブル、音楽づくり (言葉、動き、音を媒体として) を学ぶ。特にアンサンブルはグループ・ディスカッションを重視した活動となる。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ピアノの弾き歌いができる。 2. 鍵盤楽器や打楽器やリコーダーによるアンサンブルに関心を持ち、演奏ができる。 3. 声や楽器や身体の動きを媒体として、グループで音楽作品を作ることができる。 4. 音楽の基礎理論 (楽典) の理解ができる。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> ① ピアノ実技：受講者それぞれの課題曲を次週までに弾けるように練習してこよう。 ② 音楽理論：提示した練習問題を次週までに完成させておくこと。疑問点や質問事項がある場合は次週に必ず聞くこと。 ③ 歌唱教材：積極的に歌唱へ取り組み、多くのレパートリーを作れるよう心がけること。 ④ 中間のまとめ (実技、筆記)、期末のまとめ (実技、筆記) を行う。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初等科音楽教育研究会編『最新初等科音楽教育法：2017 年告示「小学校学習指導要領」準拠：小学校教員養成課程用』音楽之友社、2020。 <p>【参考書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全音楽譜出版部編『標準バイエル教則本』全音楽譜出版社、2008。 <p>【その他】</p> <p>第 9 回からソプラノリコーダーを使用する。持っていない学生は必ず第 9 回までに用意しておくこと。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校共通教材を中心としたピアノの弾き歌いができるようになったか。 2. グループによる「アンサンブル」や、音楽づくりに積極的に取り組んだか。 3. 音楽の基礎理論 (楽典) を理解し、説明できるか。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常の授業への取り組み及び意欲 総合点の 40% 2. 実技発表 総合点の 40% 3. 音楽理論の理解 総合点の 20% 		
12. 受講生へのメッセージ	ピアノや歌唱等の演奏技術は、授業や試験の直前に練習するだけでは上達しません。演奏には日々の取り組みが如実に表れます。時間を見つけ、少しずつでも毎日必ず練習する習慣をつけましょう。反復練習は時に退屈を感じるかもしれませんが、地道な努力の積み重ねが上達に繋がっていきます。様々なレパートリーを作り、音楽の楽しさを感じられるようになります。		
13. オフィスアワー	初回授業時に周知させる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	授業ガイダンス (シラバス説明・授業概要)、アンケート、演奏レベルチェック、課題曲提示	事前学習	鍵盤で“ド”の位置を理解しておくこと。
		事後学習	各自の目標 (初級：音符と鍵盤の一体化、中級：楽譜に忠実に、上級：表現力のある演奏を目指して) を設定し、各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
第 2 回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論① (音部記号・楽譜について)	事前学習	各自の目標及び各自の演奏レベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音部記号・楽譜について) に取り組む。
第 3 回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論② (音名・変位記号)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音名・変位記号) に取り組み、音楽における働きを理解する。
第 4 回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論③ (音符と休符)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (音符と休符) に取り組み、音楽における働きを理解する。
第 5 回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論④ (拍子とリズム)	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題 (拍子とリズム) に取り組み、音楽にお

			ける働きを理解する。
第6回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑤（強弱記号、簡単な楽語）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	「止まらずに弾く」ことを目標に課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題（強弱記号、簡単な楽語）に取り組み、音楽における働きを理解する。
第7回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑥（反復記号、装飾音符） グループアンサンブル①（グループ決め、曲決め）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	実技発表に向けて課題曲を練習する。筆記試験に向けて音楽理論を復習する。
第8回	中間のまとめ（ピアノ弾き歌い実技発表・音楽理論に関する筆記試験）	事前学習	中間のまとめに向けた各自の課題曲を練習する。
		事後学習	各自、期末試験に向けて目標を設定し、それに応じて決めた各自の課題曲を練習する。
第9回	ピアノ弾き歌いレッスン グループアンサンブル②（合奏練習）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	学習した音楽理論を応用する。自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 グループアンサンブルの個人練習をする。
第10回	ピアノ弾き歌いレッスン グループアンサンブル③（合奏練習）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	学習した音楽理論を応用する。自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 グループアンサンブルの個人練習をする。
第11回	ピアノ弾き歌いレッスン グループアンサンブル④（合奏発表） 鑑賞	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	学習した音楽理論を応用する。自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。鑑賞指導の組み立てについて理解する。
第12回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑦（長音階、短音階）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	学習した音楽理論を応用する。自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題（長音階、短音階）に取り組み、音楽における働きを理解する。
第13回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽理論⑧（簡単なコードネーム）	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	学習した音楽理論を応用する。自身の読譜力向上に留意しながら各自の課題曲を練習する。 音楽理論プリント課題（簡単なコードネーム）に取り組み、活用できるようにする。
第14回	ピアノ弾き歌いレッスン 音楽づくり	事前学習	各自の目標及び各自のレベルに応じて提示された課題曲を練習する。
		事後学習	実技発表に向けて課題曲を練習する。筆記試験に向けて音楽理論を復習する。「音楽づくり」の指導における特徴を理解する。
第15回	期末のまとめ（ピアノ弾き歌い実技発表、音楽理論に関する筆記試験）	事前学習	実技発表に向けて課題曲を練習する。筆記試験に向けて音楽理論を復習する。
		事後学習	弾き歌いを復習する。これまでに学習した音楽理論を復習し、活用できるようにする。